

## 物理学委員会（第26期・第7回）議事要旨

1. 日 時 令和6年3月28日（木）10:00～12:05

2. 会 場 オンライン会議（ZOOM）

出席者：市川温子、奥村幸子、腰原伸也、櫻井博儀、杉山 直、常行真司、森 初果、青木慎也、浅井 歩、網塚 浩、飯嶋 徹、生田ちさと、板倉明子、瀧川 仁、田村裕和、寺崎一郎、根本香絵、野尻美保子、肥山詠美子、福嶋健二、藤澤彰英、藤澤健太、山崎典子、渡部潤一

欠席者：梶田隆章、五神 真、齊藤直人、松尾由賀利、道園真一郎（敬称略）

### 3. 議 事

#### （1）委員紹介（資料1）

出席した委員より自己紹介が行われた。

#### （2）日本学術会議と物理学委員会の現在までの状況について（資料2）

日本学術会議と物理学委員会の現在までの状況について、報告がなされた。

#### （3）拡大役員会報告、学術会議の今後の在り方についての状況報告（資料3）

拡大役員会報告、学術会議の今後の在り方についての状況について、報告がなされた。

#### （4）学術研究振興分科会について（未来の学術構想について）（資料4、参考資料1）

第25期の未来の学術振興構想の経緯と今期の活動について報告がなされた。

#### （5）各分科会の状況報告（資料5）

科学者委員会ジェンダー・エクイティ分科会および第三部理工系ジェンダー・ダイバーシティ分科会の報告がなされた。さらに、第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会と物理学委員会物理教育分科会との連携活動について意見交換があった。

#### （6）共同利用・共同研究拠点賛同書について（報告）（資料6）

委員長より、共同利用・共同研究拠点認定の申請への支持を、メール審議後、物理学委員長名で提出したことが報告された。今後、物理学委員会における賛同書の承認にあたり、そのプロセスについては、委員長預かりの課題とし、他の委員会の対応を調査しながら、議論を継続することとなった。

#### （7）第25期における意思の表出について、査読過程、プラズマ小委員会の意思の表出、学術構想についての概要報告（資料7）

プラズマサイエンス小委員会で第25期に見解を発出したこと、26期はフォローアップを行うことが報告された。

#### （8）第25期活動見直しと第25期の委員会を跨いだ連携について（議論）（資料8）

委員長より第25期の活動を鑑み、第26期の活動方針として、未来の学術振興構想の振り返り、「化学の10年」の活動展開、物理学委員会内外の分科会委員が参画する学術フォーラムの開催が提案され、承認された。

#### (9) その他

委員会委員間のメールアドレスの共有、そして議事要旨の提出に関する委員長一任について承認された。

#### 4. 配布資料

資料1：委員氏名、設置分科会一覧

資料2：日本学術会議と物理学委員会 現状報告

資料3：拡大役員会報告、学術会議の今後の在り方についての状況報告

資料4：科学者委員会学術研究振興分科会について

資料5：共同利用・共同研究拠点賛同書について

資料6：第25期における意思の表出について

資料7：プラズマサイエンスーその学際的发展と豊かな未来社会のためにー

資料8：第25期活動見直しと第25期の委員会を跨いだ連携について

参考資料1：未来の学術構想(2023)について